



現代教養学部報

第1号

2018. 3. 1発行

創刊号

学部報発行によせて

さとう ひろし
 学部長 佐藤 寛



中央学院大学の3番目の学部として、平成29年4月に現代教養学部が誕生しました。現代教養学部の教育理念は「公正な社会観と倫理観」をそなえた自立した個人の育成をめざし、現代を生き抜くための教養教育を通じて、地域や社会、政治や経済との関わりの中にある自己を深く知り、社会参画や社会貢献できる市民を育成することを目的とするものです。この理念に基づき、現代を生き抜く教養を身に付け、世の中で必要とされるジェネラリスト(多様な知識を有する人)を育てるために新たに誕生しました。「生きる力」を身に付けるために、「地域」と「世界・異文化」の観点から学内のみならず地域との連携や諸外国の大学との提携で異文化社会研修などを盛り込んだカリキュラムを編成しました。

我孫子市や柏市の地域24団体と連携し、学外講師として我孫子市長星野順一郎様、副市長青木章様をお招きし、講義していただくなど密接な地域連携がスタートしました。あるゼミでは手賀沼調査や鳥の博物館、水の館などのフィールド・ワークを行いました。異文化社会研修は新年度から始まります。

このような趣旨で誕生し1年が過ぎようとしています。フレッシュだった新入生は今や逞しさを感じる程成長した姿が伺えます。ひとえに学生達に寄り添って下さった新任の先生方の努力の賜物であります。

本学部教員一同はチャレンジ精神で教育・研究に勤しむ所存です。

教員紹介

さとう ひろし
 学部長・教授 佐藤 寛 研究室:702

主な担当科目

現代教養入門Ⅰ・Ⅱ 環境と社会 環境問題と水資源

専門分野

環境社会学 環境政策学

現在の研究テーマ

<地球の環境問題>

環境問題は、「自然現象を理由とする問題」と「人為的な理由による問題」があります。特に、今日の地球の自然環境が危ぶまれている主たる原因は人為的な行為の結果です。今や地球は地球温暖化、異常気候、オゾン層破壊、砂漠化、水危機など我々を取り巻く環境は日増しに悪化を辿っています。この人為的な行為の結果、地球に棲む我々が原因者(加害者)であると同時に被害者でもあります。地球に棲む全ての動植物のために、各自が未来の地球環境に対して責任ある姿勢と行動が必要です。この自然豊かな地球環境は我々の子孫からの預かり物です。

学生へのメッセージ

「自分の力を社会のために役立てたいと考えているみなさん、新しくスタートした現代教養学部と共に成長し、社会を動かす力を身につけて、未来に向かって歩き始めましょう!」



教員紹介

教授

こうの じゅんいち
河野 純一

研究室:703



主な担当科目

現代教養入門Ⅰ 都市文化論 西欧の社会と文化 社会と芸術

専門分野

ヨーロッパ都市文化論 言語学

現在の研究テーマ

<ウィーンにおける都市文化の諸相についての文化的、社会的、言語的研究>

ある都市について考察をしていくときに、社会的・歴史的な面とあわせて、文化のあり方という視点も、本来欠かせないものです。オーストリアのウィーンは、「音楽の都」としても有名ですが、かつてはハプスブルク帝国の首都として栄え、その伝統が今でも多くのところに見られます。ウィーンという町の都市文化について、歴史、社会、芸術など、またそこに住む人々の生活文化、さらにウィーン独特の方言に見られる言語的特徴を通して、いかにそうした方言が生まれてきたのかといった面も含め、都市と文化全体を総合的に研究対象としています。

学生へのメッセージ

「いろいろなことに興味・興味を持つこと、それが大学生活を豊かなものにすると思います」

教員紹介

教授

なかじま じゅんいち
中島 純一

研究室:804



主な担当科目

現代教養入門Ⅱ 私たちの生活とコミュニケーション メディア文化論 マスコミュニケーション論

専門分野

コミュニケーション論 メディアコミュニケーション論 ダイレクトマーケティング論

現在の研究テーマ

<ネット社会におけるコミュニケーション行動の変容と心理>

コミュニケーション全般について研究しています。特にインターネットやモバイルなどのデジタル空間におけるコミュニケーションや消費者行動などについて研究を進めています。リアル社会のコミュニケーションと比べて、デジタル空間特有のコミュニケーションやコミュニケーション環境はどのようなものか、そしてそれらはどのような要因から生まれるかを、ネット上に発生する集合行動や流行現象、ネットショッピングなどの多角的視点から研究しています。

学生へのメッセージ

「Ask, and it shall be given you ! (求めよ、さらば与えられん!)」

教員紹介

准教授

さいとう のぶと
齋藤 暢人

研究室:308



主な担当科目

哲学概論 論理学概論 現代思想論

専門分野

形而上学 論理学 現象学

現在の研究テーマ

近年では、形式化された全体部分論であるメレオロジーの基礎を研究している。これまで明らかにしたのは、メレオロジーの原始概念の候補が複数あり、それらのあいだに特徴的な関連があること、メレオロジーに位相を導入して拡張したメレオポロジーの体系を具体的に提示し、位相幾何学における他の理論との関連性を指摘しえたこと、メレオロジーを時間の論理に適用できること、アリストテレスの論理をメレオロジーとみたときの論理的帰結、アリストテレスの様相論理をメレオポロジーとして解釈しうること、などである。今後、こうした成果の発展、応用に努めたい。

学生へのメッセージ

「なにかが存在するとは、どういうことか。哲学の問題とはこのようなものです。考えてみると面白いかもしれません。」

教員紹介

准教授 ^{たかぎ こういち}
高木 康一 研究室:705

**主な担当科目**

法学概論 憲法概論 統治の制度

専門分野

憲法・行政法

現在の研究テーマ

<カナダ連邦制・ドイツ連邦制>

カナダやドイツの憲法を勉強しています。日本と異なり両国とも連邦制を採用していますが、地方自治・地方分権として連邦制をとることにどのような意義があるかを検討しています。その他に、民主主義に関する論点、たとえば、国民投票や住民参加など直接人々が政治の仕組みを決定する際の、意義や問題点に関心をもっています。

学生へのメッセージ

「社会人になるための、そして社会人になってから必要なスキルを身につける4年間にしてください。」

教員紹介

准教授 ^{ますやま みつひろ}
増山 光洋 研究室:302

**主な担当科目**

スポーツ健康論

専門分野

健康・スポーツ科学 スポーツ経営 スポーツビジョン

現在の研究テーマ

かつて日本のスポーツ国力を支えてきた実業団だが、近年の企業におけるスポーツチームの所有離れが相次ぎ次々と実業団チームの休廃部が起きている。そんな中、新たなチームモデルとして一企業に依存しない地域に根差したクラブ型のチームが発足されるようになり注目を浴びている。かつてのように雇用も運営資金も潤沢であった実業団が消滅していく中、クラブ型チームの今後の意義と可能性について研究を進めている。

学生へのメッセージ

「4年間は取り組み方で人生が大きく変わります。共に頑張りましょう。」

教員紹介

講師 ^{たかはし しげみ}
高橋 茂美 研究室:808

**主な担当科目**

日本語表現基礎論 日本語表現実践論 日本文学基礎論 専門基礎演習

専門分野

日本近代文学(明治・大正期の文学)

現在の研究テーマ

<尾崎紅葉の研究>

幕末から明治にかけて、日本は、近代化へ向けて大きく歩み出しました。文学も時代の諸相を描いています。尾崎紅葉は、文学結社、硯友社の頭領の一人で、明治期の文学界をリードしました。言文一致体の創始者の一人としてもよく知られています。新聞小説家として、そして硯友社のリーダーとして、いかなる文学活動を展開したのかを研究しています。

<玉蟲左太夫の研究>

幕末の動乱期に生きた武士が新しい時代へ向かって何を考え、行動したのかを、仙台藩士・玉蟲左太夫を通して研究しています。

<白樺派の文学研究——我孫子時代を中心に>

我孫子市にある中央学院大学は、志賀直哉、武者小路実篤などの文学を味わい、研究するには絶好の場所です。中央学院大学のゼミナールならではの白樺派プロジェクトを計画中です。

学生へのメッセージ

「自分の人生を切り開くための「勇気・忍耐・持続」を、大学生活において実行しましょう。」

教員紹介

すがわら だいいち た
助教 **菅原 大一太** 研究室:609

**主な担当科目**

英語リスニング・スピーキング基礎 英語リーディング・ライティング基礎
コミュニケーション英語基礎(Writing)

専門分野

19世紀アメリカ文学

現在の研究テーマ

<アメリカと言語空間>

アメリカという、人種的、文化的な多様性を持つ国を、1つの共同体としてまとめ上げている規範の一つとして、アメリカの独立宣言が挙げられます。現在においてもなお、この独立宣言の一節が演説などの中で取り上げられていますが、このことは、建国時に発せられた「ことば」が、常に現在とリンクしていることを示しています。19世紀のアメリカ文学を中心に、現実世界を言語空間に移し替えた文学テキストのなかで、ことばが生き生きと立ち上がる時、そこでどのようにアメリカらしさ関わっているのかを、言語の機能そのものに着目して考察しています。

学生へのメッセージ

「大学での勉強を自分自身の脈絡の中に取り入れていくと、自分なりのことばが生まれてくるかと思います。学生のみなさんが、普段の生活に知的な営みを合流させて、楽しく充実した大学生活を送ることを願っています。」

教員紹介

とうどう ひでき
助教 **藤堂 英樹** 研究室:708

**主な担当科目**

情報リテラシー 情報処理論の基礎 情報処理論

専門分野

情報理工学

現在の研究テーマ

<コンピュータグラフィックス、映像コンテンツ制作技術>

映画やアニメ、テレビゲーム等、映像が出てくるところには、コンピュータグラフィックス(CG)が多く使われています。かつてはCGと言えば一部の企業だけが使っているというイメージでしたが、今ではコンピュータを持っていれば誰でも気軽にCGに触れるようになってきました。研究では、CG制作を便利にするためのツールを開発したり、実際の映像コンテンツからCGデザインを分析する技術に取り組んでいます。映像コンテンツとソフトウェアに実際に触れると、映像の本質が少しずつ見えてきます。

学生へのメッセージ

「コンピュータは情報伝達のための便利な道具です。楽しく学んで使いこなしましょう！」

教員紹介

みね まい こ
助教 **峯 真依子** 研究室:407

**主な担当科目**

英米文学実践論 英語リスニング・スピーキング実践 コミュニケーション英語実践(Speaking)

専門分野

アフリカン・アメリカン文学・文化

現在の研究テーマ

<バービー人形を通して見るアメリカ>

みなさんは、バービー人形にブラック・バービーと呼ばれるアフリカ系のバービーが存在するのをご存知ですか？また、大統領選挙の年ごとにアフリカ系のみならずヒスパニック系、アジア系のバービーも一緒に大統領候補バービーとして発表されているのをご存知ですか？

これまで研究してきたのは、アフリカン・アメリカン文学と文化です。声で伝えられる文化(歌や口承文化)がどのように文学に影響したかということ、古くは奴隷制度の時代に書かれたスレイヴ・ナラティブから現代の作家トニ・モリスンまで約200年に渡り探っていくものでした。しかし、若く好奇心旺盛な皆さんと出会うのですから(!)、バービーのような身近な題材から、アメリカの文化・文学について一緒に考えていければと思っています。

学生へのメッセージ

「英語でも仕事ができるようになろう。英語でも自己表現ができるようになろう。英語でもケンカができるようになろう。」